

# 藤中教育後援会だより



## 人生のターニングポイント

会長 福井 尚司

今年度、藤森中学校教育後援会会長を拝命致しました藤森学区の福井尚司です。一年間宜しくお願い申し上げます。

地域住民並びに教育後援会の皆様には教育後援会の活動に対し、多大なる御支援、御協力を賜り誠にありがとうございますとございます。皆様から御協力頂いております後援会費は主に藤中生のクラブ活動における近畿大会、全国大会等の遠征費用補助金として有意義に使われており各大会で素晴らしい成績を取っております。皆様には大変感謝しております。

さて8月6日からは、ブラジルでリオオリンピックが開催されました。日本選手活躍も目覚ましくメダル獲得数も前回ロンドンオリンピックを大幅に更新し、4年後の東京オリンピックで日本選手が更に活躍する礎となるオリンピックになったのではないでしようか。特に10代、20代前半の若い選手が活躍し、今練習に励んでいる人々に大きな刺激と勇気を与えたと思います。藤中卒業生の

中からも未来のオリンピック選手が出てくるのも夢ではないと思います。ここで少し名言をご紹介します。「努力した者が成功するとは限らない。しかし成功する者は皆努力している。」音楽家ベートホーベンの名言です。青色LEDでノーベル物理学賞を受賞した天野浩教授の名言「学生は投げ出したかったこと一度もない。きれいな結晶にならないときはしょげて下宿に帰ったが朝になると新しいアイデアが出た。楽しくて苦勞とか辛いと思っただけではない」というように天才と言われる人でも色々なターニングポイントがあったのだと思います。藤中生も勉強や友人関係、クラブ活動での悩みも沢山あると思います。ちょっとグポイントが見つかり必ず乗り越えていけると思います。

最後になりましたが教育後援会の皆様も温かく藤中生を見守って頂き、ご協力を宜しくお願い致します。

第54号  
発行  
京都市立藤森中学校  
教育後援会  
京都市伏見区深草  
池ノ内町55  
平成28年9月12日

## 『部活動によせて』



校長 内山 義則

平素は藤中教育後援会の皆様方には藤森中学校の教育活動に多大なるご支援、ご協力を頂き、誠に有難うございます。

本校も創立六十九年目を迎え、新たな歴史を積み重ねていくため、生徒・保護者・教職員一丸となつて、日々、子どもたちの健やかで、たくましい成長を見守りながら、教育活動に邁進いたしております。

特に、教育後援会の皆様方よりご期待頂いております運動部活動では今年の夏季市内大会において、卓球部が団体で女子が優勝、男子が準優

勝。剣道部が団体で男子が優勝、女子が準優勝。さらに、男子バスケットボール部が準優勝を果たす等、輝かしい成績を残してくれました。ひとえに皆様方の応援の賜物と感謝いたしております。

このあとも、府下大会・近畿大会・全国大会へと続いてくれることを期待しています。

また、その一方で惜しくも敗れてしまった部活動もたくさんあります。三年生にとっては中学校生活最後の大会となった訳ですが、三年間、暑い日も寒い日も一生懸命に練習に打ち込み、必死で頑張ってきた努力はこれからの人生の中でも必ず生きてくるものと思います。「継続は力なり」といいます。これからも子どもたちには何事にも諦めずに勇気を持って夢に向かって突き進んでいってほしいものです。

このように、子どもたちにとって中学校生活の大きなウエイトを占める部活動ですが、最近、そのあり方について議論が行われています。勝利至上主義に陥り、過度な練習から故障する生徒や心身に支障をきたす生徒が増えている現状があるようです。適度な休養を取りながら、効果的な練習を行う等、部活動の見直し提案されています。本校の子どもたちの現状もしっかりと把握して、より充実した部活動になるように考えていきたい部活動に思っています。子どもたちにとつて部活動を三年間続けて良かった、悔いはないと実感しているような素晴らしいものにするために指導者側も新たな気持ちで頑張らなければならないと思います。これからも、本校の部活動にご理解、ご協力をどうぞ、よろしくお願いいたします。

# 平成28年度 夏季大会の試合結果

野球	1回戦 VS 大谷中 8-0 6回コールド 2回戦 VS 修学院中 2-3
サッカー	2回戦 VS 七条中 5-2 3回戦 VS 安祥寺中 0-2
ソフトテニス	個人戦 5ペア：京都市大会に出場(庄司・上阪ペア、沖原・村本ペア、吉岡・酒井ペア、池田・西井ペア、樋口・安原ペア) 団体戦 1回戦 VS 大原中 3-0 2回戦 VS 神川中 0-3
女子バスケ	1回戦 VS 京都朝鮮中級部 98-32 2回戦 VS 精華学園中 17-147
男子バスケ	2回戦 VS 大谷中 94-17 3回戦 VS 洛星中 68-43 4回戦 VS 近衛中 70-37 準々決勝 VS 加茂川中 62-58 準決勝 VS 樫原中 68-48 決勝 VS 二条中 55-66 府下大会 1回戦 VS 京田辺市立田辺中 69-55 府下大会 準々決勝 VS 与謝町立江陽中 48-52
女子バレー	1回戦 VS 深草中 2-0 2回戦 VS 樫原中 0-2
男子バレー	2回戦 VS 衣笠中 2-0 準々決勝 VS 蜂ヶ岡中 0-2
陸上	市内大会 男子総合4位 共通4×100mリレー 2位 (小森・東・柴田・上田) 低学年リレー 8位 (上阪、中野、安井、阿野) 2年100m 阿野龍典 6位 共通200m 柴田智広 3位 共通110mH 東 日向 3位 共通棒高跳 関 大寿 6位 中沢実夢 8位 共通砲丸投 小森 明 4位 共通三段跳 山崎 涼 8位 女子 共通走高跳 井上来夏 3位 府下大会 男子共通200m 柴田智広 7位 男子共通棒高跳 関 大寿 4位
水泳	市内大会 男子 総合7位 100m背泳ぎ 長牛太佑 1位 200m背泳ぎ 長牛太佑 1位 200mバタフライ 高田雅登 3位 400m個人メドレー 高田雅登 4位 府下大会 100m背泳ぎ 長牛太佑 1位 200m背泳ぎ 長牛太佑 1位 200m自由形 高田雅登 7位 400m個人メドレー 高田雅登 4位 男子400mメドレーリレー 7位 近畿大会 100m背泳ぎ 長牛太佑 6位 200m背泳ぎ 長牛太佑 3位 400m個人メドレー 高田雅登 17位 全国大会 200m背泳ぎ 長牛太佑 30位
剣道	市内大会 男子団体優勝 個人1・2年の部 優勝 佐野太一 個人フリーの部 準優勝 山之内将真 女子団体準優勝 個人1・2年の部 優勝 早野 陽 個人フリーの部 7位 森脇千逢 8位 池川志織 府下大会 男子団体準優勝 女子団体3位 近畿大会 男子団体3位 決勝トーナメント 予選リーグ1位
卓球	市内大会 男子団体準優勝 個人 5位 大西 遥 女子団体優勝 府下大会 男子団体 女子団体準優勝 近畿大会 女子団体ベスト8 予選リーグ2位 VS 四天王寺中 (大阪府) 0-3 VS 岩出第二中 (和歌山県) 3-1 決勝トーナメント1回戦 真美ヶ丘中 (奈良県) 0-3
柔道	市内大会 男子団体準優勝 個人 66K級優勝 丹波弘太郎 73K級準優勝 小林宗介 50K級3位 前田悠登 女子団体ベスト8 個人 48K級準優勝 川野紗幸 44K級3位 寺内菜奈 府下大会 男子団体3位 個人 66K級優勝 丹波弘太郎 60K級準優勝 南崎琉歌 女子団体ベスト8 個人 48K級3位 川野紗幸 近畿大会 男子団体ベスト16 1回戦 VS 粟津中 (滋賀県) 3-2 個人 66K級2位 丹波弘太郎 2回戦 VS 箕島中 (和歌山県) 0-4 全国大会 男子個人 66K級 丹波弘太郎 ベスト16
ワンダーフォーゲル	8月27日(土) 夏季大会(踏査競技)実施 入賞なし
吹奏楽部	京都府吹奏楽コンクール 銀賞
放送部	NHK杯全国放送コンテスト京都大会 アナウンス部門 優秀賞 畑 美也子 朗読部門 最優秀賞 富野 寿莉阿 優良賞 永岡 凜
ラグビー部	9月10日(土) より予選リーグ開始

# がんばれ!! 藤中生

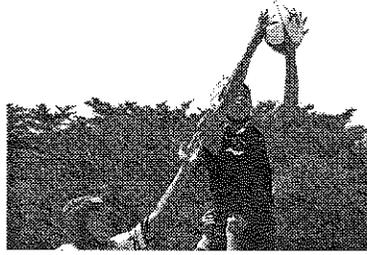
## 藤森ラグビーの三年間

ラグビー部 西川 賢哉

僕たちラグビー部は、昨年の先輩方が全国大会に出場したように、春季大会を優勝し全国大会に出場するという目標を掲げ練習してきました。合宿では炎天下の中走り続け、高校に行っては高校生を相手に練習試合もしました。春季大会の決勝の相手は新人戦で負けた中学だったので、チーム内で絶対に勝とうという思いで戦いましたが結果は惜敗。京都一の夢は終わってしまいました。

この敗戦から得られたことがあります。それは保護者をはじめ顧問の先生や友達、たくさんの人が僕たちの夢を叶えるために支えてくれたことです。

そんなみんなに精一杯の感謝を込めて「あり



がとう」を伝えたいです。

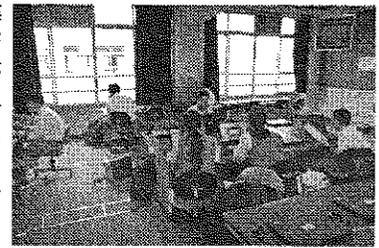
まだ僕たちは秋季大会があります。その大会は近畿大会につながるのでもう支えてもらった人に恩返しをするつもりで絶対に優勝します。最後の大会は三年間共にラグビーをした仲間、後輩と共にチーム一丸となって戦うので応援よろしくお願いします。

## 三年間の部活動を振り返って

パソコン部 横井 航

僕は三年間パソコン部にいました。僕がパソコン部に入ったときには、先輩が一人もおらず、一年生だけでした。そして僕は、一年生から部長をさせてもらうことになりました。今では後輩も入ってきて、部室がとにもぎやかになりました。

パソコン部は、他の部活と違って春や夏にも大会が無いので、全員で目標に向かって何かするということはありませんでした。しかし去年から、藤中祭文化の部の幕間の映像の製作を任せていただくようになったので、全員で協力して物事を成し遂げることの喜びも知ることができま



した。藤中祭などのイベントがないときも、それぞれが「○○ができるようになりたい」と自分の目標を持って活動しています。

パソコン部は一年生の部長、担当一年目の顧問の先生という、まさにゼロからのスタートでした。そんなパソコン部が、今では学校に仕事を任せていただけるまでになりました。先輩というものを見たことのない僕が、どこまで先輩らしい、部長らしい姿を見せられたのかわかりませんが、僕たちが部を去ったあと、後輩たちがこの部をより良い部活にしてくれることを願っています。

## 感謝

柔道部 丹波 弘太郎

僕は今年、個人戦で全国大会に行けました。正直、府下大

会や市内大会では練習してきたことはほとんど出せませんでした。それでも優勝して全国大会に行けたのは先生や柔道部のみんな、そして両親のおかげだと思います。

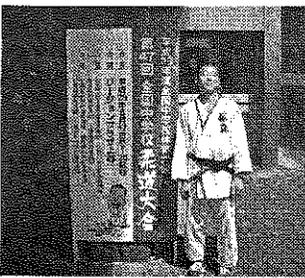
僕が練習したことを出せなかったのは、つき指をしたからです。柔道是指をよく使うのでなかなか上手に柔道着をつかめないのです。そんな時、先生はテーピングを巻いてくれたり、気にかけてくれました。

また、僕には減量がありました。減量といっても三キロ程ですが、僕の両親は食事のことについて色々調べてくれたし、そのおかげで体力や筋肉量が落ちることもなかった。

そして柔道部のみんなは、試合が終わっているのに、僕を応援してくれたり、僕のアップを手伝ってくれたりしてくれました。

このような支えがあったからこそ本当に思っています。

柔道部のみんな、今まで本当にありがとう。



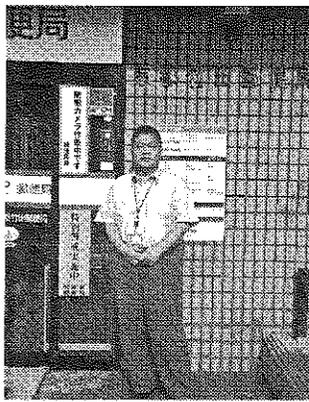
# 「藤中の思い出」

渡辺 俊也

(昭和56年度卒)

皆さんこんにちは。

私は今、近鉄竹田駅近くの京都竹田郵便局長を拝命し頑張っています。昭和60年に旧郵政省に採用後、京都市内の郵便局で窓口業務を行い、前局長、周辺の局長、地域の方々等色々なご縁があり郵政民営化で大変だった平成19年4月に現郵便局に局長として着任しました。地域の「なんでも屋」でありたいと思い、信頼されるよう日頃から局が一体となつて地域のお客様と接すること、話すこと、聴くこと、を常に念頭に置き、お年寄りも、小さなお子様も遊びに来ていただける、そんな憩いの場の



郵便局にしたいと思っております。ぜひ、お近くにお寄りの際は当郵便局の窓口までお越しくださいませ。さて、先日昭和56年卒業藤森中学校同窓会が開催されました。その同窓会の開催委員をしておりました「ご縁」で今この「藤中教育後援会だより」を書いております。

卒業してかれこれ35年以上が経ち、4年に1回開催しているとはいえ、みんなどうなってるのか、どんなふうに見られるのか、大きな期待とちょっとした不安が入り交じり、行くまでは緊張していました。でも、同級生の顔を見るとそんなものは忘れ、再会を喜んでました。

男子はだいたい誰かわかりました。が、女子は顔見ただけではほとんどわからず、パッと顔見た瞬間に誰だかわかった人が数人。名前を聞いたらかわかった人がほとんどでした。

私も、すぐに「おお、相変わらずデカイな」とわかってもらえたり、名前を言って初めてわかってもらえたり、半々くらいでした。

先生はそれなりに年輪を重ねているものの、ほとんど変わっておられません。あの当時の先生は厳しく、よくシバかれました。今なら間違いなく体罰で問題になってます(笑)。その先生方のところへ挨拶に行きましたが、さすがに今日はシバかれま



せんでしたが、やっぱり怖かったです(笑)。

途中から席が入り乱れて、自由な、くだけた場になりました。皆やっぱり、基本的には同級生と再会できたことが嬉しいのです。変わったことも変わらないことも。中学卒業の日の延長上に今があることが面白いのです。

会場が大分騒がしくなったころ、卒業アルバムの写真を主としたビデオムービーが流れました。同級生の人数は450人ぐらいで、出席者は約100人でした。100人は結構スゴい出席率らしいです。でも、もうこの時点では、「映ったあいつが今日は来てない！」の方が気になってました。

今はいろんな場所にいるんな立場で、それぞれの人生を送り、それぞれの大事なものを守るオジサンオバサンになったみんな。でも、少し話すだけで共感できる思い出がある。一緒に笑ったり怒ったりした記憶がある。自分が何の為に何を思っている道に進んできたのか、忘れていた理由に触れるような感覚すら覚えます。

私たちは今年で50歳。きっと、この人数で集まれることは二度と無いでしょう。

しかしそれでも、いやむしろそれだからこそ、私はこれまでの「ご縁」これからの「ご縁」を大切にしていきたいと思えます。



平成27年度 藤森中学校  
教育後援会 決算報告書

【収入の部】		
繰越金	前年度繰越金	143,716
会費	会費	849,700
雑収入	預金利息	0
合	計	993,416
【支出の部】		
運営費	事務費	8,200
	印刷費 消耗品費	11,003
	雑費	5,000
事業費	機関紙	70,040
	教育振興費	558,415
助成費	PTA 助成費	120,000
積立金	積立金	100,000
予備費	予備費	0
合	計	872,658

積立金現在高	2,510,089
--------	-----------



ワークライフ  
バランス  
教頭 小野 高志

平素は教育後援会の皆様より、本校教育に対して多大なる御支援とご協力を頂き誠にありがとうございます。

さて、最近では教育委員会や市役所からも「真のワークライフバランス」の実現をというような通達がくるなど、教職員に対して勤務時間の調査や退勤時間の設定など、様々な形で長時間勤務を縮減し、働き方について見直そうという動きがあります。藤森中学校でも毎週水曜日を「藤森デー」と名付け19時に全教職員が退勤するという取組を昨年度途中から実施しています。この取組は藤森中学校だけではなく京都市の中学校全体で行っているもので、それだけ教

職員の長時間勤務は大きな課題となっているということだと思います。OECDの調査では諸外国と比較して、日本の教員の勤務時間が突出して多く、マスクミでも取り上げられることになりました。厚切りジェイソンという芸人さんが日本は開始時間には厳しいが終了時間にはルーズというコメントをされていて、なるほどと思います。仕事に区切りをつけて自分や家族の時間を大切にするという意識は確かに低いのもかもしれません。同じ調査では教員という仕事に対する満足度は他国と差が無かったことを考えると、自分の働きたいように働くのが結果的には良いのかもと思えます。時代の変化とともに、我々教員の働き方も変化が求められているのだと感じます。自分自身も若い世代の手本となる「働き方」を意識していきたいと思えます。

平成27年度 藤森中学校教育後援会 事業報告

年	月	日	事業内容
平成27年	5	14	平成26年度 会計・会計監査・役員会
		26	平成26年度 役員会・平成27年度 仮役員会
	6	3	評議委員会準備
			評議委員会
		10	平成26年度 事業報告・会計報告・監査報告 平成27年度 新役員・理事紹介及び承認 予算案・事業計画案審議 会務・会費徴収について
	19	新旧懇親会	
	7	1	社会見学打合せ
		9	「後援会だより」発行打合せ
	8	10	社会見学下見
		20	「後援会だより」編集会議
27		「後援会だより」編集会議	
9	10	「後援会だより」第53号 発行・配布	
10	27	社会見学	
平成28年	1	29	新年懇親会
	2	18	役員会 ・27年度の総括 ・指名委員選出について
	3	8	指名委員会 ・指名委員長の選出 ・役員、理事の指名
	5	12	平成27年度 会計・会計監査・役員会
	6	7	平成27年度 役員会
			平成28年度 仮役員会

社会見学

恒例の社会見学のコースが決まりましたので、ご案内申し上げます。今年は、グリーコピア神戸にてグリーコ製品の工場見学、神戸税関、神戸酒心館（ノーベル賞晩餐会のお酒「福寿」の酒蔵）見学、昼食は三宮にある城崎西村屋での三段弁当を企画いたしました。

日時 十月二十五日（火）  
集合 西浦公園  
出発 午前八時三十分（時間厳守）  
行先 神戸方面  
費用 五〇〇〇円  
申し込み連絡先  
藤ノ森 奥田 六四一―一四〇七  
竹田 城内 六二三―三三四三六  
砂川 垂脇 六四三―六三三四二  
藤城 平 六四二―三三二〇四  
十月五日午前中までにお申し込み下さい。申し込み後に都合が悪くなられた方は、代理の方をお立て下さい。定員になり次第、締め切らせていただきます。  
秋の神戸の一日を満喫しましょう。

### 藤中魂

竹田学区 山川 美恵子

娘が藤森中でお世話になってからすでに20年以上が経ちました。それでも教育後援会で藤森中学校と関わりを続けているのは、娘が通った3年間がとも思い出深いものだったからだと思います。特に部活動では女子バレーボール部に入っていました。が、早朝練習に休日も朝から夜までの練習や試合と顧問の先生方には本当にお世話になりました。身体を鍛えたりバレーボールが上手になったりということはもちろんですが、あいさつや礼儀、上下関係や友人関係など本当に大切なことをたくさん学んだと思います。今でも娘と中学校時代のことを話すと、バレー部での様々な出来事や先生の話や友達のことをよく話題になります。そして部活以外でも担任の先生や、多くの友人と本当にたくさんのお出ががあります。今の娘があるのは藤中のおかげだということも大げさでは無いと思います。藤中で学んだ経験したことがまさに「藤中魂」と言えると思います。いつまでも「藤中魂」を育てていって頂きたいと思ひます。

### ラグビーと出会って

砂川学区 宗座 修

長男、次男が小学校の時ラグビースクールでラグビーを始め、その後藤森中学入学後もラグビー部に所属しました。二人が在籍した六年間、大会に練習試合に夏合宿にと応援に出掛け、顧問の先生方とも懇意にさせてもらい、また息子の成長していく姿も見えて大いに楽しませてくれました。お陰様で家庭でも会話もはずみ親子関係は良好だったと思ひます。

### 故郷藤森

藤森学区 橋垣 艶子

藤森に住んで早三十年余りが過ぎ、もう私の故郷になりつつあります。なぜか、遠くに行って帰ってきたらほっとする自分がいまいます。孫が子どもと同じ保育園に行くとは考えもつきませんでした。というのも娘も孫も藤森にいますからです。藤森って居心地が良いのかなあ? 今思うことは何年前から地域女性会に入れたのが良かったと思ひます。

### 「今も元気だからこそ」

藤城学区 伊藤 一雄

私がPTAの会長をつとめていた時は、藤中創立五〇周年の年でした。実行委員会の副会長として、教育後援会の先輩役員の方々やPTA役員とで、会議を重ねる度に、学校や生徒たちの事を心底考えておられる言動に敬服したものでした。この精神は現在も受け継がれています。又記念祝賀会には地域の多くの方々にご参加頂き盛大に開催されました事は良き思い出でした。

# 会員の声

私も息子達の影響で三十歳代からラグビーを始め今も六十歳以上のメンバーでつくる京都シニアチーム《MAIKO》で続けております。毎週の練習、年に数回の他府県シニアチームとの交流戦とラグビーを楽しんでいます。

ラグビーは『ONE FOR ALL, ALL FOR ONE』と言うように、仲間の為に自分が出る事を、と言う精神。そしてやさしさ、強さが知らず知らず身に付くすばらしいスポーツだと思っております。

女性会ってまだまだ先だと思ひたのがうそのようです。仕事がなくなり、人とのつきあひも少なくなる中、女性会のサークル、行事に参加できて楽しく過ごすことができるのは考えもつきませんでした。地域との関わりが大切と実感しつつあります。そして、いつまでも笑顔でこの深草藤森で暮らし、歳をとりたいものです。

この年は冬季オリンピックピクが長野で開催され日本人選手が素晴らしい活躍をされました。今はリオオリンピックで日本人選手の活躍には目覚ましいものがあります。「ONE FOR ALL」「ALL FOR ONE」の精神でお互いに励まし合っている姿は美しいものです。この頃のPTA役員と実行委員の方々でOB会と称して年に数回懇親を深めています。歴代の校長先生や教頭先生方も参加して頂いております。お互いに健康に気づかい乍ら楽しいひと時を過しております。

